

科目区分	専門教育科目	科目名	コミュニケーション技術A	科目コード	40401	担当者	荒木正平		
対象学生	介護福祉士コース1年生	学期区分	後期	単位数	1	卒業要件	必修		
						免許・資格要件	介護福祉士必修		
科目の主題						成績評価の方法と割合			
介護を必要とする人々とのコミュニケーションのあり方について理解を深め、実践力を身につける。						定期試験（50%） レポート・提出物（40%） 受講態度（10%）			
科目の到達目標						教育目標に基づく学修成果の到達目標			
						誠実な人柄と人間力（尽心）	高度な知性と創造力（創造）	明確な意志と実践力（実践）	
1.	対人援助関係におけるコミュニケーションの意義や目的を理解する。					○	○		
2.	介護技術とコミュニケーションの関係性について理解する。					○			○
3.	コミュニケーション場面で用いられる技法の目的や効果を理解する。					○	○		○
4.	介護場面における情報共有の意義について、基礎的理解を深める。						○		○
5.									
授業方法									
演習科目である。講義や個人ワークとグループワークを組み合わせながら授業をする。事例に関する資料やDVDを活用する。（適宜レポート課題やミニテストを出題し、学生の理解を促す）									
準備学修（予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容）									
予習として、教科書を授業までに読んでおくこと。復習には、配付資料やレジュメ、ミニテストなども活用し、理解を深めるように努める。									
授業計画									
第1回	コミュニケーションの基本① 介護におけるコミュニケーションの意義と目的を理解する								
第2回	コミュニケーションの基本② 介護におけるコミュニケーションの役割や効果を理解する								
第3回	コミュニケーションの基本③ 利用者を深く理解するためのコミュニケーション								
第4回	コミュニケーションの基本④ 介護における生活支援とコミュニケーション								
第5回	コミュニケーションの基本⑤ 非言語コミュニケーションの活用								
第6回	コミュニケーションの基本⑥ 介護福祉士に求められるコミュニケーション								
第7回	コミュニケーション場面をふりかえる技法① プロセスレコードの活用1								
第8回	コミュニケーション場面をふりかえる技法② プロセスレコードの活用2								
第9回	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション① 傾聴の技法								
第10回	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション② 利用者の感情表現の理解								
第11回	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション③ 納得と同意を得る技法、質問の技法								
第12回	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション④ 相談・助言・指導の技法								
第13回	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション⑤ 意欲を引き出す技法								
第14回	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション⑥ 利用者と家族の意向を調整する技法								
第15回	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション⑦ 複数の利用者がある場面でのコミュニケーション技法								
教科書・参考書					受講生へのメッセージ				
新・介護福祉士養成テキスト「コミュニケーション技術」中央法規出版					介護に関するあらゆる場面でまず求められるのは、確かなコミュニケーション能力です。介護者としての感性・人間性に根差したコミュニケーション能力を身につけていきましょう。				